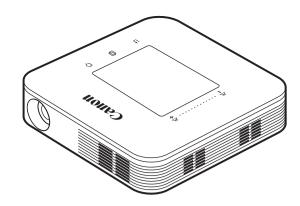
ミニプロジェクター C-13W かんたんガイド



ご使用前に必ず「安全にお使いいただくために」をよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになった後、このかんたんガイドは将来いつでも使用できるよう大切に保管してください。 詳しくは、製品ホームページの (https://cweb.canon.jp/mini-projector/lineup/c-13w/) に掲載の「ユーザーガイド」をご覧ください。



© Canon Korea Business Solutions INC.2010-2019

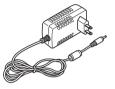
Printed in Korea

同梱品の確認

次の同梱品が揃っていることを確認してください。

NOTE 同梱品については、事前に予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。







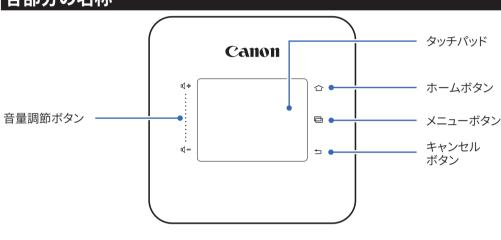


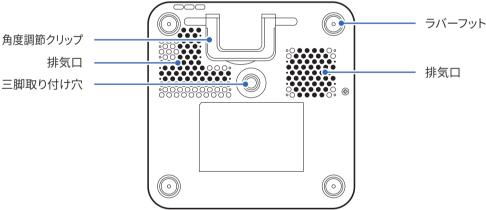
本体 電源アダプター

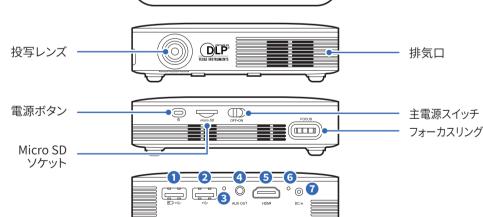
かんたんガイド

保証書

各部分の名称







名称

機能

USB機器の接続やモバイルバッテリー機能時に使用します。 ● USB接続端子

2 USB接続端子 USB機器の接続に使用します。

サービス専用ボタン。 3 リセットボタン

❷ NOTE 故障の原因になりますのでサービス用途以外ではさわらないで下さい。

音声を外部スピーカーなどで出力することができます。 4 音声出力端子

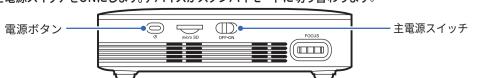
HDMIケーブルを介した映像がプロジェクターから投写されます。 **5** HDMI接続端子

6 充電ランプ 充電ランプの色で充電状態を確認することができます。(赤: 充電中、緑: 充電完了)

☑ 電源入力端子 電源アダプターを接続します。

電源を入れる

1. 主電源スイッチをONにします。デバイスがスタンバイモードに切り替わります。



2. 電源ボタンを長押し(約2秒)して、プロジェクターをオンにします。 約10秒後に起動画面が表示されたのちホーム画面が表示されます。

Ø NOTE

- プロジェクターを使用するには、主電源スイッチと電源ボタンを両方ともオンにする必要があります。
- 主電源スイッチだけをオンにする場合、モバイルバッテリー機能のみ使用できます。
- プロジェクターを使用しないときは主電源スイッチと電源ボタンを両方ともオフにしてください。

初期設定

最初の起動時には初期設定画面が表示されます。



- 言語選択
- 2 タイムゾーン選択
- 3 入力言語選択

①②③を設定し、画面下のOKボタンを押 します。

タッチパッドの操作

- タッチパッドまたはタッチボタンに、電気が通っている物が触れないようご注意下さい。静電気等の電気的 刺激により、誤作動や故障を起こすことがあります。
- タッチパッドの端はタッチ認識しない部分のため、該当部分はタッチパッドが正常に動作しないことがあります。
- タッチパッドは指でタッチしてください。

選択/実行

アプリケーションの実行、目的 メニューの選択、画面表示ボタ ンのクリック、キーボード入力の 際は、タッチパッドを軽くタップ します。

画面を上下に移動する



タッチパッドを二本の指でタッ プして、上下にドラッグします。

メニュー表示



2回タップする時、2回目のタップ を長押しするとメニューが表示 されます。

画面を左右に移動する



タッチパッドを二回タップして、 押した状態で左右に長くドラッ グします。または、ページ送りの 矢印か、該当ページへのポイン トをタップします。

ホーム画面

ホーム画面は、製品の主なアプリケーションおよび機能を使用するためのスタート画面です。 ホーム画面のアイコンをタップして、目的のページおよび機能アイコンを開きます。



❶ ステータス バー:デバイスのステータスアイコンや日付、時間などが表示されます。

09:04 2019/04/02 火 : 現在の時刻、日付 : USBストレージデバイスの接続状態 : Micro SD カードの装着状態

: Bluetoothの接続状態 : Wi-Fiの接続状態 :バッテリーの残量

- ② ミラーリング:モバイル機器の画面をワイヤレスで共有することができます。
- ③ HDMI:HDMI接続を行います。
- ◆ アプリケーション:インストール済みのアプリケーションのリストを見ることができます。
- 5 ブラウザ:インターネットに接続するための、WEBブラウザが起動します。
- **⑥** マルチメディア:動画、音楽、アルバムアプリケーションを起動できます。
- → 設定:本機の設定確認、変更ができます。
- 🔞 追加:[追加]を押して、アプリケーションにあるアプリケーションをショートカットとして選択することができます。(最大6個)



■ B + ▼ a 1 アプリインストーラー: アプリケーションのインストール

② ダウンロード:

及び管理する機能です。 インターネットからダウンロードした

ファイルを確認する機能です。 3 ファイルエクスプローラー: USBメモリーと内蔵メモリ、Micro SD

カードを閲覧するメニューです。

4 電卓: 電卓メニューです。

映像を映す

HDMI接続

NOTE HDMI接続には数秒かかります。

- 1. HDMIケーブルを使用して、スマートデバイスやPCなどとプロジェクターを接続します。
- 2. プロジェクターのホーム画面から[HDMI]をタップします。 スマートデバイスやPCなどとプロジェクターがHDMIで接続されると、プロジェクターからスマー トデバイスやPCなどの画面が投影されます。

無線接続(ミラーリング): Android OSのみ

- 1. プロジェクターのホーム画面から[ミラーリング]をタップします。
- 2. 接続するスマートデバイスからミラーリング機能をオンにします。
- 3. スマートデバイスの選択画面から「MiniPJ_xxxx」を選択します。 スマートデバイスとプロジェクターが無線で接続されると、スマートデバイスの画面がプロジェクターから投影されます。 **⊘** NOTE
 - 無線接続(ミラーリング)が可能なAndroid OSの対応状況は製品ホームページをご確認ください。
- スマートデバイスの製造メーカー毎にミラーリング機能を設定する方法が違う場合があります。詳しくはお 使いの機器の取扱説明書にてご確認下さい。
- 無線接続を試してみても接続できない場合や、画面に異常がある場合は、ミラーリングモードを無効にした 後、もう一度接続してみてください。(接続動作時には、通信環境が安定するまで時間が必要です。)
- プロジェクターと無線接続時、スマートデバイスで起動中のアプリケーションやBluetooth接続などのその他動作で、転送速度に遅延が発生する可能性があります。
- スマートデバイスのOSと製造メーカー毎の無線環境によって性能に差が生じることがあります。
- ミラーリング動作は"SoftAP"が搭載されているので外部ルーターの接続が無くても無線接続が可能です。 詳しくはお使いの機器の取扱説明書にてご確認下さい。
- 無線接続環境では、接続機器または接続環境により無線品質に差が生じることがあります。
- 各デバイスに搭載されたOSとの接続は、Canon Korea Business Solutions Inc.による独自の接続動作確認であり、デバイスの各社における動作を保証するものではありません。また、接続対応OSの最新バージョン 情報については製品のホームページにてご確認ください。

|電源を切る

- 1. 電源ボタンを押すと、電源を切るダイアログボックスが表示されます。OKを選択してプロジェクターを オフにします。キャンセルを選択した場合、続けて使用することができます。
- 電源ボタンを長押し(約2秒)した場合もプロジェクターがオフになります。
- 2. 主電源スイッチをOFFにして電源を切ります。

充電の仕方

製品の充電

- 1. 電源入力端子に本製品に同梱されている電源アダプターを接続します。 必ず同梱の電源アダプターのみを使用してください。
- 2. 充電ランプが緑色に変わったら、充電器と製品を取り外してください。

Ø NOTE

| 元電ランプの色 赤色: 元電中 緑色: 元電元 | <u></u> |
|-------------------------|---------|
|-------------------------|---------|

製品の充電時間および駆動時間

■ 製品のご購入後に初めて使用する場合や長時間使用しなかった場合は、使用する前にまずバッテリーを十分に 充電してからご使用ください。

| 充電時間 | 約3時間 | 駆動時間 | 最長2時間 |
|------|------|------|-------|
| | | | |

- 充電時間と駆動時間は、充電状態と使用環境によって異なる場合があります。
- バッテリーは経年劣化とともに駆動時間が徐々に短くなったり、充電の所要時間が長くなることがあります。

製品仕樣

| 製品名 | | ミニプロジェクター C-13W | | | |
|-------------|------------|---------------------------------|-----------|------------|--|
| | 映像素子 | DMD | 入力端子出力端子 | HDMI | HDMI 端子 |
| | 明るさ | 130lm (電源アダプターを接続、明るさ調整100%の場合) | | USB | USB TypeA×2 (モバイルバッテリー機能は1つのみ) |
| | 解像度 | WVGA (854×480) | | MicroSD | MicroSDソケット |
| | コントラスト比 | 400:1 | | 音声出力 | ステレオミニジャック |
| N/AM | 最大入力解像度 | Full HD (本体メモリーやUSBメモリーは4K UHD) | | Bluetooth® | BT 4.2 (音声出力のみ) |
| 光学 | 光源 | RGB LED | | 内蔵スピーカー | 2.5W (モノラル) |
| | 画面サイズ | 最小16.1インチ(0.5m)/最大97インチ(3m) | 無線通信 | ミラーリング対応OS | Android OS |
| | ピント調整 | 手動 | | 周波数 | 2.4GHz/5.0GHz |
| | 台形補正 | 縦方向オートキーストーン | | Channel | IEEE 802.11 a/b/g/n/ac |
| | アスペクト比 | 16:9 | 周波数範囲 | WAN | 2,412 MHz ~ 2,472 MHz /5,180 MHz ~ 5,240 MHz |
| | 画面オフセット | 100% | | Bluetooth® | 2.402GHz ~2.480GHz |
| 充電ランプ | 充電中 | 赤色 | 内蔵メモリー | メモリー | 8GB (ユーザー利用可能領域 4GB) |
| | 充電完了 | 緑色 | | アダプター種類 | 電源アダプター |
| バッテリー 容量 | 容量 | 7.4V、3,100mAh | ACアダプター | モデル名 | G361J-120300B-1 |
| | 充電時間 | 約3時間(電源オフ時) | | 製造メーカー | Dongguan Fastbon Electronics Co., Ltd. |
| 廿里 | 駆動時間 | 約2時間(音量レベル中) | | 入力 | 100-240 V~、50-60 Hz、0.8 A |
| 電源 | 製品電源入力 | DC 12V、3A | | 出力 | DC 12 V, 3 A |
| 規格 | サイズ(W×D×H) | 120*120*33 mm | 動作温度/保管温度 | | 0~35°C/10~40°C |
| | 重量 | 410g | ¥Л F/皿 | 文/ 体 旨/血/支 | 0 -33 6/10 -40 6 |

|安全にお使いいただくために

電波法について

『本製品は、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備です。』



5.2GHz帯高出力基地局等に接続される場合を除き、5.2GHz帯及び5.3GHz帯(W52/W53)の屋外使用は禁止されています。(In door use only, except for connection to dedicate devices.)

電波に関するご注意

本製品は、2.4GHz/5GHz 帯域の電波を使用しております。本製品をご使用になるうえで、無線局の免許は必要 ありませんが、次の点にご注意ください。

心臓ペースメーカーなどの医療用機器の近くでは使用しないでください 心臓ペースメーカーなどの医療用機器の近くで本製品をご使用になると、本製品からの電波がペースメーカー などの医療用機器に影響を及ぼすことがあります。

電子レンジの近くでは使用しないでください

電子レンジの近くで本製品をご使用になると、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が低下 する場合があります。

本製品と無線機器の間に、金属や鉄筋、コンクリートなどがあると通信できません

本製品と無線機器の間に、金属や鉄筋、コンクリートなどが使用された壁やパーティションなどがあると、通信ができなかったり、通信速度が低下する場合があります。

その場合は、本製品や無線機器の設置場所を変更したりパーティションなどを取り外すなどしてください。

移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局の近くでは使用しないでください

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに 電波の発射を停止した上、お客様相談センターへご連絡の上、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの 設置など)についてご相談ください。
- 3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の 事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

安全のための警告/注意事項

↑ 警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。安全に 使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

<u>↑ 注意</u> 取り扱いを誤った場合に、傷害、または製品故障以外の物的損害が生じる可能性が想定される内容 を示しています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

設置について

- 介警告・アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。これらが製品内部の電気 部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。
 - アクセサリーなどの金属や液体が入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電 気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。万一、内部に入った場合は、本体の電源を 切り、ただちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご連絡ください。
 - 医療用機器の近くで使用しないでください。本機からの電波が影響を及ぼし、誤動作による事故 の原因になります。

- ↑ 注意 ・次のような場所には設置しないでください。けがや火災、感電の原因になります。 不安定な場所/振動のある場所/雨や雪が降りかかるような場所/高温になる場所/火気に近い場 所/排気口をふさぐおそれのある場所(壁の近く、ベット、ソファー、毛足の長いじゅうたんの上など) /風通しの悪い場所/湿気やホコリの多い場所/屋外や直射日光の当たる場所
 - 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になります。

- ♠警告 電源アダプターを傷つける、加工する、引っぱる、無理に曲げる、などの行為はしないでください。 また、電源アダプターに重いものをのせないでください。火災や感電の原因になります。
 - 濡れた手で電源アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
 - タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になります。
 - 電源アダプターは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。火災や感電の原因になり

取り扱いについて

- ↑ 警告 ・製品を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。
 - 電源アダプター、ケーブル類、電気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ 事故の原因となり危険です。
 - 異音・異臭がする、発熱・発煙しているなどの場合は、本体の電源を切り、ただちに使用を中止し て、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になり、大変危
 - 製品の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部 品などに付着すると、火災や感電の原因になります。
 - バッテリーを分解して開けたり切らないでください。
 - バッテリーを分解、加熱、衝撃を与えないでください。
 - バッテリーを熱や火気のある場所には放置しないでください。
 - バッテリーの液漏れが発生したときは、皮膚や目に触れないようにしてください。もし液漏れに触 れた場合は、すぐに大量の水で洗い、医師の診察を受けてください。
 - ・製品(バッテリー含み)を廃棄するときは、焼却したり火の中に捨てないでください。熱により爆発 や火災の原因になります。
 - 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理をするようお願いいたします。詳しくは 各自治体にお問合せください。
 - ・動作中(投写中)は排気口周辺が高温になりますので、手で触れたりしないでください。やけどや事 故の原因になることがあります。
 - 機器の排気口を新聞、テーブルクロス、カーテンなどの物でふさがないでください。

メンテナンスについて

♠警告 • 清掃のときは、電源をお切りください。火災や感電の原因になります。

- 電源アダプターを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で ふき取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になります。
- 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなど の引火性溶剤は使用しないでください。これらが製品内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原
- ・電源アダプターは定期的に点検し、発熱・錆び・曲がり・擦れ・亀裂がないかどうか確認してくださ い。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になります。

LED光源について

- ⚠ 注意 使用中は強い光が出ていますので、投写レンズを覗きこまないでください。目を傷める恐れがあり ます。特に小さなお子様にはご注意ください。
 - 本製品の投写光は、IEC62471に基づくリスクグループ2 (RG2) に分類されます。

リスクグループ2

注意:本製品から危険の可能性がある非常にまぶしい光源が放出されます。 動作ランプを直視しないでください。目を傷める恐れがあります。

法的告知

免責事項

本マニュアルの図は、製品の動作を説明するための例示であるため、実物と異なる場合があります。また、本マ ニュアルは予告なしに変更されることがあります。

商標について

Wi-Fiはwww.wi-fi.orgの商標または登録商標です。

HDMI、HDMIロゴ及びHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。 Bluetooth®はBluetooth.orgの商標または登録商標です。

AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国、日本及びその他の国における登録商標または商標です。 その他の社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

電波障害規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B